

住んでよし、訪れてよしの柳川 「おもてなしの心日本一」を目指して

市長就任2期目 さらなる発展を目指し政策を実行

明けましておめでとつございます。

私は、昨年4月の市長選挙で多くの市民の皆様のご支援をいただき、引き続き柳川市政の舵取りを務めさせていただくことになりました。心より感謝申し上げますとともに、新年を迎え、その責任の重大さを痛感し、決意を新たにしたいと考えております。

市長就任からこれまで合併時の多くの懸案事項や行政課題を解決し、次世代の柳川を拓くための基盤づくりに全力で取り組みました。2期目は、さらなる発展を目指して、皆様にお約束した6つの政策を確実に実行していきたいと考えております。

おとしの九州北部豪雨災害の教訓から、現在、各地区で避難訓練を順次実施していただいております。今後も防災意識の向上と自主防災組織の育成に取り組み、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

基幹産業である農漁業、商工業では、6次産業化に向けた農産物加工品や新規作物の調

査研究を行います。集落営農組織の法人化など頑張る農業応援事業を進めるとともに、漁業の振興や商店街の活性化など元気でにぎわいのある地場産業の育成を図り、後継者の育成や若者の雇用の場を確保していきます。

安心して暮らせ活力あるまちへ 職員と一丸となって取り組む

西鉄柳川駅の東口と西口を結ぶ自由通路の整備や駅前広場の改修工事は順調に進んでおり、来年3月には完成する予定であります。

これと併せて、柳川の景観や歴史、文化、産業などの地域資源を活用した観光交流や映画、テレビコマーションなどの撮影場所の誘致を進めてまいります。そして、今年柳川雛祭り「さげもんめぐり」を始め20周年の記念の年。さげもんをテーマとしたシンポジウムの開催や、旅行会社と連携したさげもんミニフェスタ事業など内容を充実して観光客増につなげていきます。

柳川に住んでいる人が喜んで子育てができる環境づくりなど定住化対策にも力を入れてまいります。新婚世帯の家賃支援やマ

イホーム取得支援事業、結婚サポートセンターの運営なども引き続き実施します。さらに、都市部の人材を柳川に呼び込み、若者が定住できるモデルづくりと地域おこしを本格的に実施していきます。

そして、住んでよし、訪れてよしの柳川を実現するため、「おもてなしの心日本一」を目指して取り組んでまいります。

合併の大きな財政的優遇措置である普通交付税の段階的縮小が平成27年度から始まり、合併特例債の活用期限も6年後に迫ってきました。このような中、みやま市と共同で取り組みますごみ焼却施設や火葬場の建設、さらには老朽化した市民会館の建て替えや市庁舎の機能的配置を進めることにしています。合併による優遇措置がある31年度までに、これらの施設すべての整備を行う必要があると考えております。

本年も、市民の皆様が安心して暮らせる活力ある柳川のために、職員と一丸となって市政運営に努めてまいります。

結びに、市民の皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げ、新春のごあいさつといたします。

2014年は合併して10年目 さまざまな行政課題の解決に努力

新年明けましておめでとつございます。年頭にあたり、柳川市議会を代表いたしまして新年のごあいさつを申し上げます。

市民の皆様には、日ごろから市政に対する温かいご理解と、絶大なご協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年6月、はからずも私を議長にご推挙いただき、責任の重さを痛感いたしております。就任から半年が過ぎましたが、その間、市民の皆様の議会に対する厳しい声とともに、市政に対する熱い思いを感じ、まさに身の引き締まる思いであります。

さて昨年は、高知県で気温が国内観測史上最高の41度を記録するなど、日本中が猛暑に包まれる一方、全国各地で記録的な豪雨災害や大規模な竜巻が発生するなど、日本列島が異常気象に悩まされた1年でした。本市もおとしの九州北部豪雨の被害を教訓に、市民・行政・議会が力を合わせて災害に強いまちを作っていく必要があります。

柳川市は今年で合併後9回目の新春を迎え、来年は合併10年の節目を迎えます。この間、我が国の社会・経済情勢は大きく変化し、その対応はますます複雑・多様化してきています。しかし日本の経済は、一連の経済政策で回復傾向は感じられるものの、長引く不況から脱却したとは言えず、地方経済への明るい兆しはまだ見えてきません。このような情勢であっても、自治体は住民のニーズに応え、さまざまな行政課題の解決に努めていかなければなりません。

市の活性化に向け 地域福祉と産業の振興に力注ぐ

特に、少子高齢化や人口減少に対応するための地域福祉の推進、農業、水産業、観光の振興など、本市の活性化に向けた取り組みが常に求められています。

農業においては、政府による戸別所得補償制度やコメ政策の見直しによる将来への不透明感を解消する必要があります。

また、今が最盛期のノリ養殖では、昨年11月の乾のり初入札において品質良好とい

う結果でしたので、このままシーズンを通して安定した水揚げが続くことを切に願っています。

一方、本市周辺では有明海沿岸道路や国道385号線などの大規模なインフラ建設工事が継続中であり、中でも来年3月に完成予定の西鉄柳川駅の改修と駅東側の区画整理事業は、本市の玄関口を劇的にイメージアップし、観光地としての柳川の魅力を一層高めてくれることでしょう。

市政の一翼を担う市議会としまして、24人の議員が市民の目線に立って物事を考え、山積する諸課題に取り組んできました。これからも公平公正な開かれた議会を目指し、執行部と議会が車の両輪となって、緊張関係を保ちながらも、協力して市政の発展、市民福祉の増進のために粉骨砕身取り組んでいきます。

結びに、本年も柳川市政に対し、さらなるご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、市民の皆様にとりまして今年が実り多い年でありませうお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

市政発展、市民福祉の増進のため これからも市民目線で開かれた議会に



柳川市議会議長 浦博宣



柳川市長 金子健次



蒲池焼「干支香合」